

岩城日報

印 刷 人 関 田 弘
編 著 石 城 部 平 町 錦 屋 口 十 四
發 行 所 新 時 報 社
一部金武銭一ヶ月支給料
廣告料 行十四字詮金五十銭
(日曜、祭日)休刊

▲平町壯丁成績 平町
富の程度によりその階級が割然と整理されつゝある状態である。又資金難のため從來行はれてゐた米商連の思惑買ひがピタリと止まり現在商人で之を行つてゐる者が殆んどないのは營業が堅質味を帶びて来る事を示すもの。是は余程その趣を異にしてゐると安島氏は語つてゐる。

▲平町壯丁成績 平町
思惑買ひは定期物によらず現物買ひであるから商連のそれでは余程その趣を異にしてゐると安島氏は語つてゐる。

▲新井城共濟病院長 博士號を授與せらる
三十二歳前途有爲の士

▲松本主事視察 文部省商業補習學校主事松本喜一氏は十六日平商業學校の經營狀況を視察した。

ふく、尙當日雨天の際は逐日延期する。
▲四年生筑波山▲三年生豊間赤海岸

▲方面▲二年生赤井嶺▲一年

生赤海岸

ふく、尙當日雨天の際は逐日延

争議團の暴行は明かに騒擾罪

田村外首魁者は收容さる
島倉檢事正來平

湯本即入山炭礦争議團日本坑夫組合入山支部員百余名は勞働爭議團末處の狂態として遂に警察官數名に對し暴行を働らき近藤警官に重輕傷を負はせた

事昨報の如くであるが、平署で益峻威を極めてゐるから十七日は暴行のあつた十五日午後九時以来檢束した幹部鈴木博、田中利勝、田村勝美、廣瀬貞外九、十六日朝から水谷四倉署長以下

數名の來援を求める平檢事局からは小景檢事出張の上片つ端から六日中に約四十名の取調べを了

以來檢束した幹部鈴木博、田中利勝、田村勝美、廣瀬貞外九、十六日朝から水谷四倉署長以下

は小景檢事出張の上片つ端から六日中に約四十名の取調べを了

以來檢束した幹部鈴木博、田中利勝、田村勝美、廣瀬貞外九、十六日朝から水谷四倉

